

手足口病

どんな病気？

夏かぜの一種で、腸の中にいるコクサッキーウイルスやエンテロウイルスが原因で起こります。一度かかった子どもでもまたかかることがあります。

感染経路としては、咳や唾液による飛沫感染のほか、便に排泄されたウイルスが手に付いて、それが口から入ることもあります。

潜伏期間

3～6日。生後6ヶ月から4～5才ころの幼児に多い病気です。

症状

手のひら、足のうら、口の中に周りが赤くて真ん中が白い、米粒大の水疱が出来ます。

水疱は数日～10日間程で消失します。

- 手足の水疱には痛みやかゆみはなく、破れることはありません。しかし、口の中のものは口内炎のようにただれ、強い痛みを伴います。つばを飲み込むのも痛い子どもは不機嫌になったり、食欲が落ちたり、よだれが大量に出たりします。

ホームケア

- 口内炎の痛みにより食欲がなくなることも多いのですが、子どもが食べられそうなおときには、つるんとした口当たりのよいプリンやゼリー、冷たいアイスクリーム、スープなどを用意してあげましょう。
- 痛みが強いと水分も取りにくくなります。脱水症状を起こさないように、こまめに水分補給を心がけましょう。
- どうしても水分が取れなくて、おしっこの量や回数が減るようなら早めに受診をしましょう。

